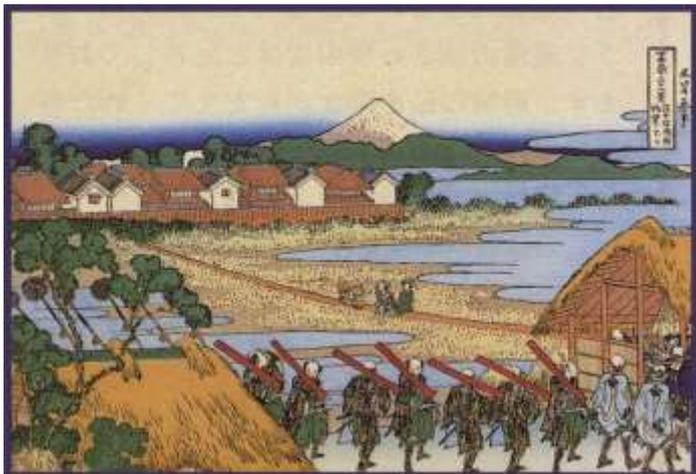


WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30~13:30
例会場 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181
事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5 Aビル 6F
TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611
<http://www.tokyo-kohoku-rc.org>



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

東京江北ロータリークラブ

会長 渡邊浩 / 会長エレクト 張替俊光
幹事 影山幸一郎 / 副幹事 中山高德
会報・IT委員長 原田寛



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

親睦がつなぐ笑顔。
そして、回復への支援。

**SERVE TO
CHANGE LIVES**

RC会長
渡邊 浩

RI会長
シェカール・メータ

第 2947 回 2022 年 3 月 17 日

Rotary Rate 116 円

2022 年 3 月 10 日 第 2946 回例会報告

点 鐘

ロータリーソング 「我等の生業」

来 賓

- ゲスト
伊澤正氏 (ゲストスピーカー)
- ビジター
なし

セ レ モ ニ ー

- 希望の風奨学金寄付
…島山信弘君
…渡邊浩君 影山幸一郎君
…海老沼孝二君 張替俊光君
…中山高德君 今井太郎君
…平岩幸男君 高橋史郎君
…芝久雄君

会 長 報 告

- 新型コロナウイルス感染対策について
東京の「まん延防止重点措置」期限は 21 日まで再延長されています。引き続き十分に気を付けてお過ごしください。
- ロシアのウクライナ侵攻について
本日ゲストスピーカーの伊澤様よりご講演いただきますが、ロータリー財団より、災害救援基金として直接的な人道支援の窓口を設置した旨の連絡が届いております。

幹 事 報 告

- 3月17日(木)は夜間例会に変更してインターアクト合同例会を開催します。出欠の連絡がない方は返信をお願いいたします。
- 3月19日(土)は社会奉仕委員会担当の、読み聞かせの会があります。係りのご担当の方は忘れず出席よろしく申し上げます。
- 本日例会後に桔梗の間にて第9回理事会を予定しております。理事会メンバーの方はご参集願います。

委 員 会 報 告

- あいあい特別委員会…3月31日(木)長寿・永年在籍を祝う会を夜間例会にて予定。本年対象になれる方は、濱中さんが77歳喜寿。伊藤さん、ベルマンさん、島山さんが古希。在籍20年で守屋さん。昨年お渡しできなかった人たちの、石鍋さん、今井さん、戸塚さん、高橋史郎さん、吉田潤さんには再度お花を渡してコメント頂きたい。

出 席 報 告 会員46名中40名 出席率87%
Remote 4名

前々回の出席率 95.65%

THE ROTARY CLUB OF TOKYO-KOHOKU

ニコニコ (● ^ 〇 ^ ●) ボックス

- 奥様お誕生祝 …小出君
- 渡邊会長 影山幹事…ずいぶん春めいて参りました。上野公園の桜ももうすぐ咲き始めそうです。本日の卓話、伊澤様よろしく願い申し上げます。
- 佐藤 (徹) 君…非常にタイムリーな卓話、感謝です。
- 守屋君…27年連続達成しました。
- 高橋 (秀) 君…本日の卓話、伊澤様、大変お忙しい中、お越し頂き誠にありがとうございます。激震の世界情勢についてお話を頂戴いたします。よろしく願いいたします。(プログラム委員会)

合計 12,000 円 累計 1,294,198 円

卓話



3月10日(木)の卓話は、一般社団法人日中経済協会理事長および、元ウクライナ駐箚特命全権大使 伊澤正氏より「ロシアのウクライナ侵攻と世界情勢の影響」という演題でお話をいただきました。

東京大学法学部卒業後、米国ハーバード大学にて行政学の修士。通商産業省に入省し、幅広い分野で活躍。平成20年9月にウクライナ国(兼モルドバ国)駐箚特命全権大使を歴任。平成29年7月より現在の一般社団法人日中経済協会理事長を務める。

今回の話は私にとっても深刻な話である。今の状況下、何かできることはないかと考えるが、今回の皆さんのようにお金を寄付するといったことしかできない。まず、背景と今後の展開について、ウクライナは1991年にソ連から独立。私が行ったのは2008年から2011年。その頃はいわゆる親露派と親米派の時代。西側が親米派。東側が親露派。

私が行ったときはウクライナが各国にも受けがいい時で、大きな企業も多く進出しようとしていた時だった。

しかし途中大統領選挙があり親露派へ。国内情勢は一気に変わる。大統領はさすがにウクライナ語を使うが、新しくなった親露派政権の首相はウクライナ語を話さず、ロシア語。そういう時代だった。故にその数十年の間に、ウクライナ人のアイデンティティがこれだけ強くなったのは感慨深く驚きである。

ウクライナは穀倉地帯である。そのためモンゴルからポーランド、リトアニア、ソ連と、そこから中から攻撃を受ける。現在大統領のゼレンスキーさんはコメディアン出身で、戦争前は支持率も低かった。そのためプーチンも簡単に落とせると思ったのだろう。日本やアメリカの支持率と違い、ウクライナでは低いのが普通。戦争が開始されてからも、ゼレンスキーさんは非常に奮闘していて現在では9割ほどに支持率が上昇。民衆国家に慣れると民衆国家ろしても良くなってくる。私が行ったときも子供たちをロシアではなく、ヨーロッパやアメリカといった大学に通わせようと考えている人が多かった。

国は上に立つ人によって変わってくる。例えばトランプは役人に任せず自分で全部行い、何をかわからない怖さがあった。逆にバイデンはインテリジェンスなどところがある。そのため、プーチンもアメリカは軍事的に介入しないと表明していることもあり、馬鹿なことはしないだろうと考えたのだろう。今回各国がウクライナ侵攻はしないだろうと考えていた中、アメリカだけはかなり前から侵攻するだろうと公言。現在も戦闘機は出せなくとも、ウクライナにロシアの軍事情報を提供して情報戦でサポートしているであろう。

次にプーチンの誤算を挙げる。

①ウクライナがこんなに士気も高く強く抵抗できると思っていなかった。キエフも2、3日で落とせると考えていたと思う。

②西側がこんなに強い結束の上、制裁を下してくるとは考えていなかったであろう。アメリカは先程言ったようにバイデンであるし、ドイツもフランスも今なら強くは無いと考えた。

本日の卓話

【夜間例会に変更】

18時点鐘

インターアクト合同例会

次週卓話予定 3/24

演題 怒りの感情と上手く付き合う「経営者のためのアンガーマネジメント」

鍋島正子氏/合同会社エムジョイワークス代表

紹介者 守屋君